

**ConMas i-Reporter**  
**カスタム URL スキーム インターフェース仕様**

## 改訂履歴

日付	対応バージョン	ページ	改訂内容
2017/11/17	V6.0	--	改訂履歴を追加しました
2019/6/24	--	p.7	【クラスター値を入力する】対応クラスターに「単一選択」を追加
2020/7/14	--	p.4, 5	Windows 版はサーバー指定パラメーターが無視される旨を削除
2022/6/23	--	p.3,4,5	Windows 版の記載について更新
2022/7/1	--	p.10	「クリップボード画像を受け取り、画像クラスターに表示する (iOS 版のみ)」を追加

# ConMas i-Reporter

## カスタム URL スキーム インターフェース仕様

### 【URLスキームで起動する】

iOS 版 :

`jp.co.cimtops.ireporter`

Windows 版 :

`ireporter`

#### ◆パラメーター

[パラメーター無し]

起動されていない場合は起動

起動されていればアプリをアクティブに切り替える

[auth=XXX]

起動と同時にサーバーにログイン処理する

XXX はユーザーID、パスワードの暗号化文字列（サーバーから API により取得可能）

#### ◆サンプル (iOS 版)

`jp.co.cimtops.ireporter://open`

`jp.co.cimtops.ireporter://auth=XXXXXX`

※“//”は iOS 上のカレンダー、メモ、メール本文等でリンク表示させるためのもののため、省略可能。

#### ◆サンプル (windows 版)

`ireporter://open`

`ireporter://auth=XXXXXX`

※“//”は省略可能。

## 【帳票開く】

iOS 版 :

`jp.co.cimtops.ireporter.openreport:repid=XXX(&auth=XXX&server=XXX)`

Windows 版 :

`ireporter.openreport:repid=XXX(&auth=XXX)`

ローカルがあればローカル帳票開く

認証情報が無い場合

現在ログイン情報でローカル帳票開く。

認証情報がある場合

前回情報と比較

一致すれば開く

一致しなければ

接続先情報変更不可の場合はメッセージ表示、何もしない

接続先情報変更の場合、

ローカルデータ（定義／帳票）を削除し、ログインし直すか？のメッセージを表示

ローカルなければサーバーから開く

認証情報が無い場合

ログイン画面を表示し、そこでログインした場合は、対象情報を開く

認証情報がある場合

サーバーにログインし、対象情報を開く

### ◆パラメーター

[repid=XXX] ※必須

i-Reporter で採番された帳票 ID

[auth=XXX]

起動と同時にサーバーにログイン処理する

XXX はユーザーID、パスワードの暗号化文字列（サーバーから API により取得可能）

[server=XXXXXX]

アプリに複数の接続先設定がある場合のみ必要。

XXXXXX はアプリ側で設定している接続先 URL の文字列を URL エンコーディングした値

### ◆サンプル (iOS 版)

`jp.co.cimtops.ireporter.openreport://repid=XXX`

`jp.co.cimtops.ireporter.openreport://repid=XXX&auth=XXX`

`jp.co.cimtops.ireporter.openreport://repid=XXXXXX&auth=XXX&server=XXX`

※“//”は iOS 上のカレンダー、メモ、メール本文等でリンク表示させるためのもののため、省略可能。

### ◆サンプル (windows 版)

`ireporter.openreport://repid=XXX`

`ireporter.openreport://repid=XXX&auth=XXX`

※“//”は省略可能。

※QR コード化する場合、“//”は省略ください。

## 【定義から作成する】 (※基本的な動作は帳票を開く際と同様)

iOS 版 :

`jp.co.cimtops.ireporter.createreport:defid=XXX(&auth=XXX&server=XXX)`

Windows 版 :

`ireporter.createreport:defid=XXX(&auth=XXX)`

ローカルがあればローカル帳票開く

認証情報が無い場合

現在ログイン情報でローカル帳票開く

認証情報がある場合

前回情報と比較

一致すれば開く

一致しなければ

接続先情報変更不可の場合はメッセージ表示、何もしない

接続先情報変更の場合

ローカルデータ(定義/帳票)を削除し、ログインし直すか?のメッセージを表示

ローカルなければサーバーから開く

認証情報が無い場合

ログイン画面を表示し、そこでログインした場合は、対象情報を開く

認証情報がある場合

サーバーにログインし、対象情報を開く

### ◆パラメーター

[defid=XXX] ※必須

i-Reporter で採番された定義 ID

[auth=XXXXXXXX]

起動と同時にサーバーにログイン処理する

XXXXXXXX はユーザーID、パスワードの暗号化文字列(サーバーから API により取得可能)

[server=XXXXXXXX]

アプリに複数の接続先設定がある場合のみ必要。

XXXXXXXX はアプリ側で設定している接続先 URL の文字列を URL エンコーディングした値

[[クラスター名]=[入力値]] 複数指定可 ※iPad のみ

開いた帳票に指定された[クラスター名]に一致するクラスターに対し[入力値]をセットします。

マスター選択の場合、自動でレコードキー完全一致検索を行いレコードが見つければ自動でセットします。

対応クラスター)

キーボード、手書きデジタル、数値選択、数値、年月日、カレンダー年月日、時刻、バーコード、マスター選択

動作仕様)

・マスター選択デフォルト検索との併用はできません。

・[クラスター名]、[入力値]ともに UTF8+URL エンコード必須

### ◆サンプル (iOS 版)

jp.co.cimtops.ireporter.createreport://defid=XXX

jp.co.cimtops.ireporter.createreport://defid=XXX&auth=XXX

jp.co.cimtops.ireporter.createreport://defid=XXXXXX&auth=XXX&server=XXX

※“//”はiOS 上のカレンダー、メモ、メール本文等でリンク表示させるためのものです。

そのため、このような使い方をしない場合には、省略可能です。

### ◆サンプル (windows 版)

ireporter.createreport://defid=XXX

ireporter.createreport://defid=XXX&auth=XXX

※“//”は省略可能。

※QR コード化する場合、“//”は省略ください。

## 【クラスター値を入力する】 iOS 版のみ

jp.co.cimtops.ireporter.setcluster: [クラスター名]=XXXX&[クラスター名]=XXXX&  
...

帳票が開いている場合

指定したクラスター名と同一名称のクラスターが帳票上に存在する場合

指定した入力値がクラスター設定に矛盾しない場合

(制限内の数値である、単一選択の選択肢に存在する値である、年月日の日付書式が一致している、等)

該当のクラスターに指定した値が入力される

指定した入力値がクラスター設定に矛盾する場合

(制限外の数値である、単一選択の選択肢に存在しない値である、年月日の日付書式が一致しない、等)

該当のクラスターに何も入力されない

指定したクラスター名と同一名称のクラスターが帳票上に存在しない場合

何も入力が行われない

帳票が開いていない場合

エラーメッセージが表示され何も行われない

### ◆パラメーター

[[クラスター名]=[入力値]] 複数指定可 ※iPadのみ

現在開いている帳票に指定された[クラスター名]に一致するクラスターに対し[入力値]をセットします。

マスター選択の場合、自動でレコードキー完全一致検索を行いレコードが見つければ自動でセットします。

対応クラスター)

キーボード、手書きデジタル、数値選択、数値、年月日、カレンダー年月日、時刻、バーコード、マスター選択  
動作仕様)、単一選択

- ・マスター選択デフォルト検索との併用はできません。
- ・[クラスター名]、[入力値]ともに UTF8+URL エンコード必須

### ◆サンプル (iOS 版)

jp.co.cimtops.ireporter.setcluster://Numeric=100

jp.co.cimtops.ireporter.setcluster://%E3%82%AD%E3%83%BC%E3%83%9C%E3%83%BC%E3%83%891=  
%E3%83%86%E3%82%B9%E3%83%88

jp.co.cimtops.ireporter.setcluster:// Numeric=100&

Number=100&%E3%82%AD%E3%83%BC%E3%83%9C%E3%83%BC%E3%83%891=%E3%83%86%E3%8  
2%B9%E3%83%88

※"/"は iOS 上のカレンダー、メモ、メール本文等でリンク表示させるためのものです。

そのため、このような使い方をしない場合には、省略可能です。

## 【帳票をローカルにダウンロードする】 iOS 版のみ

**jp.co.cimtops.ireporter.downloadreport:repid=XXX,XXX,XXX,XXX  
(&auth=XXX&server=XXX)**

※帳票 ID は複数指定可能

以下に該当する場合は帳票ダウンロードが行われない

- ・ 帳票がローカル保存できない設定になっている
- ・ 該当の帳票がローカルにすでに存在している
- ・ 権限不足によりダウンロードできない
- ・ 帳票がロックされている

### ◆パラメーター

[repid=XXX] ※必須

i-Reporter で採番された帳票 ID  
, (カンマ) 区切りで複数帳票を指定可能

[auth=XXX]

起動と同時にサーバーにログイン処理する

XXX はユーザーID、パスワードの暗号化文字列（サーバーから API により取得可能）

[server=XXXXXX]

iPad アプリに複数の接続先設定がある場合のみ必要。

XXXXXX は iPad アプリ側で設定している接続先 URL の文字列を URL エンコーディングした値

※現在の Window 版 i-Reporter は、接続先設定にて複数サーバーの切り替えに対応していないため、  
カスタム URL スキーム内のサーバー指定パラメーターは無視されます。

### ◆サンプル (iOS 版)

jp.co.cimtops.ireporter.downloadreport:repid=XXX,XXX,XXX,XXX

jp.co.cimtops.ireporter.downloadreport:repid=XXX,XXX,XXX,XXX&auth=XXX

jp.co.cimtops.ireporter.downloadreport:repid=XXX,XXX,XXX,XXX&auth=XXX&server=XXX

※"/"は iOS 上のカレンダー、メモ、メール本文等でリンク表示させるためのもののため、省略可能。



## 【定義をローカルにダウンロードする】 iOS 版のみ

**jp.co.cimtops.ireporter.downloaddefinition:defid=XXX,XXX ,XXX ,XXX  
(&auth=XXX&server=XXX)**

※定義 ID は複数指定可能

以下に該当する場合は定義ダウンロードが行われない

- ・ 定義がローカル保存できない設定になっている
- ・ 該当の定義がローカルにすでに存在している
- ・ 権限不足によりダウンロードできない
- ・ 定義がロックされている

### ◆パラメーター

[defid=XXX] ※必須

i-Reporter で採番された定義 ID  
, (カンマ) 区切りで複数定義を指定可能

[auth=XXX]

起動と同時にサーバーにログイン処理する

XXX はユーザーID、パスワードの暗号化文字列（サーバーから API により取得可能）

[server=XXXXXX]

iPad アプリに複数の接続先設定がある場合のみ必要。

XXXXXX は iPad アプリ側で設定している接続先 URL の文字列を URL エンコーディングした値

※現在の Window 版 i-Reporter は、接続先設定にて複数サーバーの切り替えに対応していないため、  
カスタム URL スキーム内のサーバー指定パラメーターは無視されます。

### ◆サンプル (iOS 版)

jp.co.cimtops.ireporter.downloaddefinition:defid=XXX,XXX,XXX,XXX

jp.co.cimtops.ireporter.downloaddefinition:defid=XXX,XXX,XXX,XXX&auth=XXX

jp.co.cimtops.ireporter.downloaddefinition:defid=XXX,XXX,XXX,XXX&auth=XXX&server=XXX

※"/"は iOS 上のカレンダー、メモ、メール本文等でリンク表示させるためのもののため、省略可能。

## 【クリップボード画像を受け取り、画像クラスターに表示する】 iOS 版のみ

### ◆概要

- 外部アプリにて撮影した画像を i-Reporter アプリの画像クラスターに表示できます。
- 既存のカスタム URL スキーム（【クラスター値を入力する (setcluster:)】）を拡張し、画像の受け渡しには iOS のクリップボード領域を利用する
- 画像を渡す側では、UIPasteboard の generalBoard を利用する(一般クリップボード)、また、画像は例え 1 枚でも images プロパティに画像配列として設定する

※クリップボードを利用するにあたって

クリップボードを利用するため、操作によって他のリソースの割り込みも考えられます。

このため、外部アプリから i-Reporter をカスタム URL スキームで呼び出す直前に画像をクリップボードにコピーし、i-Reporter 側で画像を受け取り後、クリップボードから削除します。

こうしておけば、他のアプリでペーストするなどして画像を見ることはできません。

ただし、その前にクリップボードに何かコピーされているものが、この操作によって消えてしまいますのでご了承ください。ただければと思います。

なお、レアケースですが、カスタム URL スキーム呼び出しで i-Reporter が自動で開く直前にホームボタンを押すなどして割り込むと、i-Reporter に値は渡りません。

また、その状態でメモ帳などでペーストするとその画像を貼り付けることは可能になってしまいます。

**jp.co.cimtops.ireporter.setcluster: imagesource=board& [クラスター名]=XXXX&[クラスター名]=XXXX&....**

### ◆パラメーター

[imagesource=board]

このパラメーターが存在する場合に、クリップボードから画像を取得します。

[currentsheetonly=1]

このパラメーターが存在する場合に、今開いているシートに対してのみ、同名クラスターに値を反映いたします。

[[クラスター名]=[クリップボード配列のインデックス番号]] 複数指定可  
クラスター名で指定されるクラスター種別が画像クラスターの場合、  
クリップボード配列から、指定されたインデックス番号の画像を取得する。

### ◆サンプル

jp.co.cimtops.ireporter.setcluster:currentsheetonly=1&imagesource=board&[メーター画像 1]=0&[メーター画像 2]=1&[メーター画像 3]=2

【サンプルの動作】

i-Reporter アプリで開いている帳票に対して、

- ・ クラスター名 : [メーター画像 1]のクラスターにクリップボード配列[0]に入っている画像をセットする
- ・ クラスター名 : [メーター画像 2]のクラスターにクリップボード配列[1]に入っている画像をセットする
- ・ クラスター名 : [メーター画像 3]のクラスターにクリップボード配列[2]に入っている画像をセットする